

(別紙)

令和5年度(令和4年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業 (施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 厚木市

【基本情報】

フリガナ	エヌピーオーホウジンハイテンション
法人名	NPO法人ハイテンション
フリガナ	ラブ ジェツ
事業所名	Love jets
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
居宅介護	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
1.4 人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介助 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) マッスルスーツ Exo-Power Mサイズ2台 マッスルスーツ Everyソフトフィット SMサイズ 1台

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	2 人	190 件	2,280 件	5 分	380 人時間	95 時間
	2 排泄介助・支援	2 人	35 件	420 件	15 分	210 人時間	53 時間
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
		225 件	2,700 件	20 分	590 人時間	#DIV/0!	

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

1. 利用者A入浴支援 1日利用あたりの移乗回数4×週3日×5週=60回 利用者A朝の移乗介助と移動介助 1日利用あたり2回×週1日×5週=10回
利用者B入浴支援 1日利用あたりの移乗回数6×週2日×5週=60回 利用者C入浴支援 1日利用あたりの移乗回数6×週2日×5週=60回
2. 利用者A排泄支援 1日利用あたりの回数1×週3日×5週=15回
利用者B排泄支援 1日利用あたりの回数1×週2日×5週=10回 利用者C排泄支援 1日利用あたりの移乗回数1×週2日×5週=10回

<※2>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

1. に関しては体にケガをしているところがないかの確認1分 移乗するための姿勢の確認と従事者側の体勢をとる1分 移乗と姿勢の保持3分
2. に関しては体にケガをしているところがないかの確認1分 移乗するための姿勢の確認と従事者側の体勢をとる1分 移乗と排泄が終わるまでの姿勢の保持 おしりふき10分 着替え3分

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	2 人	190 件	2,280 件	4 分	304 人時間	76 時間
	2 排泄介助・支援	2 人	35 件	420 件	13 分	182 人時間	46 時間
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!

間接業務	6 巡回・移動		0 件	0 人時間	#DIV/0!	
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0 件	0 人時間	#DIV/0!	
	8 見守り機器の使用・確認		0 件	0 人時間	#DIV/0!	
	9 その他の間接業務		0 件	0 人時間	#DIV/0!	
		225 件	2,700 件	17 分	486 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

1. 利用者A入浴支援 1日利用あたりの移乗回数4×週3日×5週=60回	利用者A朝の移乗介助と移動介助 1日利用あたり2回×週1日×5週=10回
利用者B入浴支援 1日利用あたりの移乗回数6×週2日×5週=60回	利用者C入浴支援 1日利用あたりの移乗回数6×週2日×5週=60回
2. 利用者A排泄支援 1日利用あたりの回数1×週3日×5週=15回	
利用者B排泄支援 1日利用あたりの回数1×週2日×5週=10回	利用者C排泄支援 1日利用あたりの移乗回数1×週2日×5週=10回

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

1. に関しては体にケガをしているところがないかの確認1分	移乗するための姿勢の確認と従事者側の体勢をとる1分	移乗と姿勢の保持2分
2. に関しては体にケガをしているところがないかの確認1分	移乗するための姿勢の確認と従事者側の体勢をとる1分	移乗と排泄が終わるまでの姿勢の保持 おしりふき8分 着替え3分

年間業務時間数想定削減率(%)

17.6%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

マッスルスーツを導入したことで、従事者の精神的・身体的な負担が軽減されました。安定した姿勢が保持できることで従事者の腰痛への不安が軽減され、利用者へのケアにさらに集中できるようになりました。そのため、処理時間の短縮にもつながり、利用者の身体的な負担の軽減にもつながっています。
--

(5)今後の課題

マッスルスーツを着用して入浴支援に当たる場合に、浴室のせまさからスーツが壁などに当たってしまうことがあるので、事前にアセスメントをした上で着用しても支障がないか確認する必要があります。
--

(6)気づき等について

車いすユーザーの方の通院介助も実施しているので、通院先での排せつ支援や移乗介助でもマッスルスーツが使えるとよいが、持ち運びにくいのもっと軽量化されたものも補助対象になるとよいと思いました。
--

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の縮減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	有
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	有

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

腰痛のリスクを軽減することができました。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

腰痛のリスクが軽減されたことで、安定したサービス提供ができるようになりました。同一法人が運営している他の事業所でもロボットを取り入れて支援をしたいという意見ができています。
--